

健康!よぼうかい

JapanAnti-TuberculosisAssociation,Osaka

OSAKA

2012

No.22

January

ホームページ : <http://www.jata-osaka.or.jp>

INDEX



P.2-3 ▶ 第63回 結核予防全国大会を迎えるに当たって

P.4 ▶ ごぞんじですか?「肺炎球菌ワクチン」

P.5 ▶ あなたのメンタルヘルスケアは大丈夫ですか?

P.6 ▶ 助かる命を助ける一助になれば - みんなで取り組もう -
インフォメーション

- 大阪総合健診センターでは4月から新型デジタルマンモグラフィ健診車が始動
- 大阪病院の一般病床が40床増

謹賀新年



第63回

結核予防全国大会を迎えるに当たって



第63回結核予防全国大会が平成24年2月14日、公益財団法人結核予防会総裁秋篠宮妃殿下の御臨席の下、大阪府で開催されることになりました。

誠に光栄であり、皆様方にお知らせ申し上げます次第です。

大阪にとっては22年振りの開催であり、直前の東日本大震災で第62回開催を断念された福島県のご努力を引き継いで立派な大会運営が出来るよう、当支部も準備に力をいれているところです。

顧みれば、結核の罹患率や死亡率(人口10万当りの人数)は統計が始められた昭和26年当時の698.4、110.3から、結核予防法と化学療法の導入、生活レベルの向上により、大阪で第13回大会が開かれた昭和37年には403.2、29.3となり、つぎの第41回大会の平成2年には41.9、3.0に減少しました。しかし平成21年現在ではいまだ19.0、1.7と、欧米諸国の1.5～8.5倍に達し、いまだ中蔓延状態ちゅうまんえんにあります。

特に残念なことに、大阪府では20年間、大阪市では40年間全国一の罹患率が続いています。

最近の結核情勢として、「高齢化」、「若い外国人の増加」、「大都市集中」、「耐性菌の増加」などが注目されていますが、大阪の結核蔓延状態まんえんはそれだけで説明できるものではありません。

今回の全国大会開催を機会に、皆様方の結核への認識がより深まり、結核予防の成果が上がることを期待し、一層のご理解とご協力を御願ひ致します。



第63回

結核予防全国大会 プログラム

会場 リーガロイヤルホテル(大阪市)
3F 光琳の間

- 大会式典 (13:00~14:00)
 - 開会のことば 財団法人結核予防会大阪府支部長 小倉 剛
 - 大会運営委員長あいさつ 大阪府知事 松井 一郎
 - 開催地市長あいさつ 大阪市長 橋下 徹
 - 結核予防会総裁おことば 公益財団法人結核予防会総裁
 - 結核予防会理事長あいさつ 公益財団法人結核予防会理事長 長田 功
 - 秩父宮妃記念結核予防功労賞
第15回受賞者表彰
 - 来賓祝辞
 - 議 事
- アトラクション (14:10~14:25)
 - 能勢人形浄瑠璃「能勢三番叟」 鹿角 座
- シンポジウム (14:30~16:00)
 - 講演 「健康で走り続けるために
～大阪は結核が多いって本当!?～」 大平サブロー
 - 講演 「21世紀の結核対策-DOTSを超えて～
～大阪の結核状況を踏まえて～」 古 知 新
- 閉 会

愛され続けるもも [名品]

大阪産 (おおさかもん)

地場産品の展示・販売場所：3F ラウンジ



講師紹介

大平サブロー



株式会社吉本クリエイティブ・エージェンシー大阪本部所属。
趣味はマラソン・スキューバダイビング。
健康、医療に対する関心が高く第1回大阪マラソン出場(完走)。
上方お笑い大賞第27回 金賞('98)。

講師紹介

古知 新

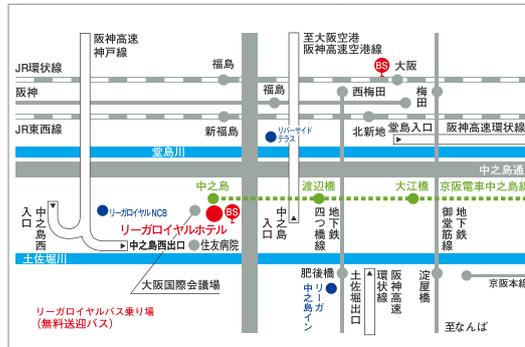


東北大学医学部卒、医学博士取得。
ハーバード公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士及び理学修士(栄養学)取得。
WHO(世界保健機構)にて、公衆衛生医師として、世界的な結核対策の枠組みを確立する。
また、HIV 対策、マラリア対策にも大きな業績を残す。

交通 Access

【徒歩で】京阪中之島線中之島駅直結

【リーガロイヤルバス(無料、年中無休)】リーガロイヤルホテル⇔JR大阪駅(西側高架南寄り)



- 【お車で】関西国際空港から約60分
大阪空港(伊丹)から約20分
新大阪駅から約15分
大阪駅から約10分
難波駅から約15分
- 【バスで】JR大阪駅東口から53番で約10分
「堂島大橋」下車
- 【駐車場】840台収容駐車場

第63回結核予防全国大会問合せ先

- 財団法人結核予防会大阪府支部
大阪市中央区道修町4丁目6-5 TEL:06-6202-1414 FAX:06-6202-9640
- 大阪府健康医療部保健医療室 地域保健感染症課
大阪市中央区大手前2丁目1番22号 TEL:06-6944-9156 FAX:06-6941-9323
- 大阪市保健所 感染症対策課
大阪市阿倍野区旭町1-2-7-1000 (あべのメディックス11階) TEL:06-6647-0653

一般申込みの方は氏名(ふりがな)と連絡先(住所・TEL・FAX)をご記入の上、平成24年1月20日(金)までに(財)結核予防会大阪府支部(FAX06-6202-9640)へお申込みください。

ごぞんじですか？

「肺炎球菌ワクチン」



インフルエンザ流行期を迎えてテレビなどで大きく取り上げられている成人用「肺炎球菌ワクチン」のお話をさせていただきます。

肺炎球菌てどんな病原菌？

肺炎球菌は市中(町中でかかる)肺炎の最も重要な原因菌で、市中肺炎全体の約20%、特に重症肺炎の約50%を占め、また時に敗血症、膿胸や髄膜炎などの侵襲性肺炎球菌感染症を起こします。肺炎球菌は

主に小児の鼻や咽頭の粘膜に常在し、遊具などを介した接触感染や、咳・くしゃみを介した飛沫感染で幼稚園や保育所で蔓延し、インフルエンザ菌と共に中耳炎や鼻副鼻腔炎を、また時に髄膜炎を起こします。

高齢者・喫煙者・COPDの方は特に注意が必要

さらに肺炎球菌は高齢者や長期喫煙によるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の方の気管支粘膜でも常在し、冬季の慢性気管支炎や、インフルエンザウイルス感染で傷害された気管支・肺に感染して重症肺炎を起こします。特に後者では、インフルエンザの高熱からやっとなり解熱してきた4日目頃に再び突然の高熱と震えで息苦しくなり救急受診される方が多く、

ペニシリンなどの抗菌薬に耐性を示す肺炎球菌の増加と共に、インフルエンザ関連死亡の最大原因(毎年約1万人!)になっています。このため、65歳以上の方やCOPDの患者さんなどでは、普段から気管支粘膜の肺炎球菌を除菌し、さらに毎冬のインフルエンザにも備えるという二段構えの予防が必要です。

5年ごとにワクチン接種なら安心

肺炎球菌は多糖体からなる厚い莢膜きょうまくに包まれており、90種以上あるこの莢膜多糖体の型により、どの臓器にどの程度の重症感染症が起こるかが決まります。成人用の23価「肺炎球菌ワクチン」のニューモバックス®NPは、肺炎症例の80%以上をカバーする23種類の莢膜多糖体に対する抗体を約1ヶ月で誘

導し、感染予防効果が約5年間も持続します。

このため5年毎の接種で十分であり、日本でも2009年10月に5年毎の接種が承認されました。一方、インフルエンザウイルスは毎年少しずつ型が変化するため、毎冬のワクチン接種が必要です。

インフルエンザワクチンと併用ならなお安心

インフルエンザワクチンで肺炎での入院が約60%、死亡が70%減少し、5年毎の肺炎球菌ワクチンの併用で両者がさらに約10%ずつ低下します。肺炎の原因の全菌種に効く訳ではありませんが、インフルエンザウイルス感染で重症化しやすいハイリスクの方(65歳以上、COPDなどの患者さん)への併用接種が世界中で推奨されています。副反応には発熱や注射局所の発赤・疼痛

などがありますが、数日で軽快します。

米国では65歳以上の方の約60%が既に肺炎球菌ワクチンの接種を受けていますが、日本では未だ10%に達していません。接種費用は1回7千円から1万円近くと高額ですが、多くの地方自治体で3千円程度の公費助成が行われており、かかり付け医師へのご相談と積極的な接種をお勧めします。

当会へお問い合わせの場合の連絡先は、最終ページをご参照ください。

あなたのメンタルヘルスケアは大丈夫ですか？

▶ どんなときにストレスを感じますか？

厚生労働省の「平成19年労働者健康状況調査」では、仕事でのストレスがあると回答している男性は59.2%（内容の第一位は仕事の質）、女性は56.3%（内容の第一位は職場の人間関係）でした。労働の高密度化、就労環境の変化などにより、強いストレスや不安などを抱える労働者が半数以上と高い割合を占めています。そしてそれにともない精神障害を理由とする長期休業も増加しています。そして業務による心理的負荷を原因として精神疾患等を発症あるいは自殺したとして、労災認定がおこなわれた件数も増加しています。

ストレスの感じ方は人それぞれで、従来の労務災害と違って原因の特定が難しいため、対策が立てにくくなっています。また程度の把握や、休業後の復帰時期の判断も難しく、復帰率も半分程度とのこと。事業主や健康管理担当者を悩ませる大きな課題となっています。

『ストレスは人生のスパイスである』との名言があります。スパイスは少量が適量で薬になりますが、適量が過ぎれば毒になります。しかし今の環境では、過剰なストレスを避けることはもはや無理なようです。ではどうすれば良いのでしょうか？

▶ ストレスの感じ方を低くするには？

仕事の自由度や裁量権が高ければ、仕事の負荷や責任が重い場合でもストレスを感じにくいと言われています。またそこに職場の支援(円滑な人間関係)

を加えるとさらに良いと言われています。この条件をできるだけうまく揃える、または悪化要因をできるだけ早く排除することがカギとなります。

▶ ストレスだと上司や同僚に言えますか？

「平成19年労働者健康状況調査」によると、職業生活におけるストレス等の原因の第一位は職場の人間関係の問題とあります。しかし悩み・ストレスについて相談できる相手に誰を選ぶかでは、男女とも第一位は家族・友人、第二位は上司・同僚となっています。

したがってメンタルヘルスケアのキーパーソンは1

日の大半を職場で一緒に過ごす同僚や上司であるといえます。まず朝の挨拶やなんでもない会話ができる環境づくりや、その中から些細な違いに気づき、それをうまく健康管理スタッフなどに伝えられる組織の流れ(ライン教育や職場の人間関係)づくりをすることが、大切です。

▶ ストレスをストレスと認識できる自分づくり

メンタルヘルス不調をおこす人の多くは、自分に過剰なストレスがかかっているのにそれに気づいていない人、気づいてはいけないと思っている人です。それでSOSの発信が遅れ、過剰なストレスを抱えたままになって、不調をきたしてしまうケースが多くなります。上手にSOSが発信できるように、またストレスをうまく発散できるようなセルフケア教育も大切になってきます。

厚生労働省の平成22年9月7日の「職場におけるメンタルヘルス対策検討会」では、一般定期健康診断

の実施に併せて、「ストレスに起因する身体的・心理的な症状・不調などについて医師が確認し、医師が必要と認める場合には、労働者が医師の面接を受けられる仕組み」の導入も検討されており、実施される日も近いようです。メンタルヘルスケアへの取り組みの強化が待たれます。

当会においても、メンタルヘルスの体制の構築と共に、管理職教育(ラインケア)と職員教育(セルフケア)を行い、当会内に相談窓口を設置したり、外部専門機関との連携を進めていく予定です。

助かる命を助ける一助になれば

— みんなで取り組もう —

目の前で人が倒れていたとき、まず、「大丈夫ですか」と声をかけることができるでしょうか。

人が倒れていたら、すぐに駆けつけて応急処置をすれば助かる命があります。救急車が来るまでにできることは何か。AED(自動体外式除細動器)の普及に伴い、その使用方法を知っておくことは大切なことです。

当会では昨年3月から、「応急手当普及員」有資格職員が、17回「普通応急手当講習会」を開催し151名の職員が修了しました。講習会では蘇生用人形を使い、人工呼吸・胸骨圧迫の練習をします。実際に行うことで応急手当のコツも覚え自信もつきます。「手が痛い。腰も痛い。人を助けるって大変なこと」とみんなクタクタになりながら取り組みました。

AEDを触ったことのない人ばかりでしたが、音声ガイドもあり、これなら使えそうとの感想もあり、どういった場合に119番したらよいか、どんな時に人工呼吸が必要かといった素朴な疑問も実際行うことで自信がついたようで、「この練習で実際の場面でも率先してできそう」、「一人でなく仲間がいたら協力してできそう」などと頼もしい感想も聞かれました。



講師の説明に耳を傾け、熱心に取り組む受講生たち

インフォメーション

INFO 01

大阪総合健診センターでは 4月から新型デジタルマンモグラフィ健診車が始動

デジタルマンモグラフィ健診の急速な需要により、アナログ健診車を廃車し、最新鋭の装置を搭載したデジタル健診車(一機搭載)を新たに製作いたします。

乳房のX線写真をコンピュータ処理した電子画像にすることにより、撮影後すぐに画像が確認できます。

デジタルマンモグラフィ健診車が2台になり、少しでも多くの女性が乳がんを早期に発見し、対応することによって健康で幸せな生活が送られることを願っております。

INFO 02

大阪病院の一般病床が40床増

平成23年12月から、一般病床を40床増やし合計120床になりました。これによって、呼吸器リハビリ適応患者の受け入れや、外科の日帰り手術またその短期間入院がしやすくなりました。また整形外科では術後リハビリの充実、泌尿器科では生検術の導入、そして皮膚科では入院治療が必要な患者の受け入れなどできるようになりました。

これからも、地域の皆様から「ここに大阪病院があつて良かった」と思われるような病院になるよう努力して参ります。

- 表紙 【都心の日の出】当センターから日の出を見ようと東を臨むと、やや南よりのビルの谷間から朝日が出てきました。冬の寒空が太陽が上がるとともに変化し、気分的に暖かさを感じさせます。今日一日の始まり、気分一新で新年のスタートです。

大阪総合健診センターへの集団健診予約受付はこちらの直通電話をご利用ください。

電話番号 **06-6202-6667**

財団法人結核予防会大阪府支部

支部 / 大阪総合健診センター 相談診療所	大阪病院・大阪総合健診センター寝屋川	堺高島屋内診療所
〒541-0045 大阪府中央区道修町4-6-5 TEL: 06-6202-6666(代表) FAX: 06-6202-6686 URL: http://www.jata-osaka.or.jp E-mail: info@jata-osaka.or.jp	〒572-0854 寝屋川市寝屋川公園2276-1 TEL: 072-821-4781(代表) FAX: 072-824-2312 URL: http://osaka-hospital.jp	〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通59 高島屋堺店内5F TEL: 072-221-5515(代表) FAX: 072-223-8534 URL: http://www.jata-osaka.or.jp/sakai/ E-mail: sakai@jata-osaka.or.jp

平成24年1月 発行 結核予防会大阪府支部

結核予防会はみなさんの健康を守ることで社会に奉仕するよう努めます